

令和元年度 第1回学校運営協議会議事録概要

日時 平成31年6月24日(水) 15:30~17:30

場所 大阪府立堺工科高等学校 大会議室

1. 開会のあいさつ(校長)

2. 自己紹介(委員、事務局)

3. 会長・副会長選出

会長に大阪府立大学 金野 泰幸 委員

副会長に大阪工業大学 皆川 健多郎 委員 が選出される。

4. 委嘱状伝達

5. 学校経営計画等について

(1) 中期的目標について

新カリキュラムへの移行を踏まえて学校経営計画を設定していく必要がある。中期的目標としては、これまでの取り組みを基に目標を設定している。人間力の育成については、更なる遅刻者数の減少に向けて学年指導と共に取り組んでいきたい。また、人権教育及び支援教育の充実として、いじめ等の早期対応について、教員研修を実施しこれまで以上の取り組みを行っていく。工業教育の充実については、工業教育の魅力発信として専門教育の興味関心が伝わっていない状況が課題として小中学校の生徒や教員に対してPRを行っていく。教員の資質向上について、校内職員研修やOJTを積極的に推進して人材育成に努める。また、地域連携として地域の防災計画へ連携などを推進して行く。

(2) 本年度の取組内容について

本年度の各項目の重点目標について説明後、各委員よりご意見を頂いた。

- 人間力の育成について、遅刻者数が昨年1千5百件まで減少した中で1千人以下をめざすためには、よく遅刻をする生徒の背景などを把握して粘り強く対応するなど「パレートの法則」にあるように2割の遅刻する生徒を中心に、遅刻する要因を取り除く指導を行い、遅刻者数が減少するような取り組みが必要となる。また、基礎学力の定着について、基礎学力の中でも英会話の必要性も追加してほしい。製造現場では外国人と一緒に働くことが増加し英会話によるコミュニケーションが重要となっている。
- 教員の資質向上について、技術の伝承が社会でも課題とされているが、学校でも教材を作成する上で、教員の技術伝承を行うことができないか。AIやIOTを利用した技術の伝承が進む中で学校でも教材を作成する場合にICTを活用したものを作れる環境が重要ではないか。
- 工業教育の充実について、ものをつくることを1年生からやる機会があれば良い。課題研究の発表会を見て、もっと自由な発想ができるような授業が3年間通してあればいいと感じた。また、目的意識を持った生徒を育成し、日本のものづくりが世界から信用され続けられる人物を輩出していくことが大切ではないか。
- 地域との連携について、生徒が授業中に災害が発生し、帰宅困難者への対応について具体的に何が必要かなどを検討する。また、昨年に引き続き、地域の防犯対策として防犯カメラの設置もお願いしたい。堺工科の学校周囲にも防犯上問題とされる箇所へ設置を検討してほしい。

(3) 教科書採択について

- 教科書採択にあたり、今回新しく採択された教科書を中心に現在の進捗状況について説明。図や絵が多く、説明が読み取りやすい内容にまとめられた内容のものを中心に採択されている。

6. 閉会のあいさつ(校長)

7. 事務連絡